

東京浅草中央ロータリークラブ

【週報】平成18年5月24日発信

第989回例会 第975号

会長:中村 義英 副会長:長沼 一雄 幹事:片岡 邦夫 会報委員長:藤野 勝彦

<2005-2006年度テーマ>

・超我の奉仕 ・超我の奉仕 ・20周年を迎えて、更に大きく『愛』の輪を	RI会長 カール・ウィルヘルム・ステンハマー 2580地区ガバナー 古宮 誠一 クラブ会長 中村 義英
今日の卓話 「癒しの瞑想」 スートラ鑑定学「南の会」 代表 南 水蓮 様 紹介者: 植木 榮 君	◎次回卓話予定(5月31日) 「福祉と宗教」 淑徳大学学長・立正大学名誉教授 長谷川匡俊 様 紹介者: 植木 榮 君

<5月の卓話予定表>

5月 3日 休日(祭日)			
5月10日	「アルミの話」	元軽金属製品協会	顧問 三田郁夫 様
5月17日	「食環境を考える」	フードコーディネーター 食工房・ミイロ	代表 高井瑞枝 様
5月24日 夜間例会	「癒しの瞑想」	スートラ鑑定学「南の会」	代表 南 水蓮 様
5月31日	「福祉と宗教」	淑徳大学学長・立正大学名誉教授	長谷川匡俊 様

年間100%出席 おめでとうございます。

柿沼 常夫 君(16回)、永井 健一 君(11回)、原田 毅 君(6回)

【平成18年5月17日 第988例会の記録】

【会長報告】<中村会長>

拉致被害者家族会代表の横田滋さんが韓国に渡り、韓国の拉致被害者で横田めぐみさんの夫ではないかといわれているキム・ヨンナムさんのお母さんと対面している様子が昨日来大きく報道されています。愛する子供を拉致された者同志が子供を取り戻すために必死になっている姿には心から同情すると共に、一日も早くめぐみさんとヨンナムさんが親の元に帰れる日を願わずにはられません。

それにしても横田さんは、その苦しい心の中とは逆にいつも笑顔に優しい言葉、無財の七施を実践している、まさに菩薩のご様子になりました。

【幹事報告】<片岡幹事>

先週開催されました、第11回理事・役員会の報告を致します。(別掲)

- ・ロータリー財団奨学生OB会である、ロータリーフェローズ東京という会がありますが、その40周年記念大会が6月30日(金)に経団連会館で行われます。日本からの二人目の奨学生である緒方貞子さんの講演があります。申込用紙は事務所にありますのでご希望の方はどうぞ。
- ・来週は夜間例会になりますので、お間違いの無いように。
東江戸川RCより7月から例会場変更の案内が来ております。尚、6月6日は夜間例会になるとのことです。

【委員会報告】プログラム委員会:井田委員長

先週、各委員長宛「卓話者選出のお願い」をしましたが、未だ4名の方々からしか提出されておられません。至急提出をお願い致します。

【同好会報告】旬の会:山尾君

9月1, 2, 3日の「風の盆」・能登の会の内容が決まりました。メンバーには近々資料を送付いたしますが、興味のある方は牧野さんまでお問い合わせ下さい。

【理事会報告】2006年5月10日(水) 13:40~

出席者(理事・役員): 会長 中村義英、長沼一雄、柿沼常夫、笹生貞介、吉沼真一、永井健一、須藤 幸、遠藤道雄、長島資生、大塚 清

(役員): 幹事 片岡邦夫、会計 長堀映二、

審議事項

1. 4月度会計報告-----承認
2. 会計システムの改善について[送金作業をインターネットバンキングにする]-----承認

報告事項

1. 彼岸花植栽の当クラブのプレートは盗難等の懸念がある為に、区役所が大切に保管しておりましたがこの度設置されました。梅の古木にもプレートまたは木の札を設置する。
2. ロータリークレジットカードに入会する件
当クラブ会員は全員加入する方向で入会承諾書兼仮申込書に記入する。
正式申込書の提出は各自の判断に任せる。

来訪者数	例会出席報告	会員出席率
ゲスト1名 ビジター 1名	第988例会	総数49名, 出席39名, 欠席7名, 出席率 84.78%
	第986例会	修正変更/5名欠席 出席率89.13%(免除 2名)

ニコニコボックス	
<p>■永井、原田君 高井先生、本日は北海道よりお出で頂き有り難うございます。</p> <p>■宮沢、植木、遠藤、井田、吉田、藤田 高井様、本日の卓話を楽しみにしております。</p> <p>■上原君 4月26日に卓話をして頂いた藤井陽江先生から大枚のニコニコを頂戴致しました。呼吸法で元気にとのことです。</p> <p>■松崎、矢野君 いよいよ待望の浅草神社例大祭・三社祭を迎える運びとなりました。無事恙無く齋行出来ます様、ご協力をお願い申し上げます。昨年のクリスマス会で宮出しの棧敷席が当たった方はお申し出下さい。</p> <p>■岩戸君 お久しぶりです。2週間休みました。</p>	<p>■次年度クラブ奉仕委員会 第1000回記念例会の準備委員会を10日に開催しました。多くの委員より活発な意見が出され、概要が決まりました。会員各位には月末にはお知らせします。</p> <p>■新旧出席委員会一同 先日、新旧の引継ぎが無事終了致しました。各委員のご協力有り難うございます。残金ニコニコします。</p> <p>■海内君 今週は待ちに待った三社祭です。浅草の無形文化財「びんざさら」を是非ご覧下さい。</p> <p>■浅草神社ファンクラブ一同 (松崎、海内、長沼、中村、長島、永井) 矢野さん、今週末の浅草最大のイベント三社祭、全員で支援いたします。成功をお祈りいたします。</p>

【卓話】

「食環境を考える」

フードコーディネーター 食工房・ミイロ 代表 高井 瑞枝 様



命を育むには「食」と向かい合う事を捨てることは出来ません。長い人間の歴史の中で、「食」が忘れ去られたことは一度も無かったはずなのに、これほど変化した文化も珍しいのではないだろうか。身近な「食」のあり方を見つめなおし、次世代へ受け渡すべき「食」とは何か。資源は育てながら使うもの、という原点と向かい合い、必要以上に走り過ぎた豊食の後に来た現実と化学によって変化した原材料のあり方から、加工・保存・管理・流通・消費に至る様子を追い、食環境について考えてみたい。

尚、野菜や肉など具体的な食材について、又調理法までも掘り下げ、日常の食卓に於ける「食育」にも触れてゆきたい。「食」には個人差があるが、自分の子供が何を食べているのかを知らない父親が多い。

日本の自給率を皆さん知っていますか。輸入食材は60%以上、主食の穀物は70%以上が輸入品です。この輸入食材に問題があります。横浜・本牧では毎日10,000個以上のコンテナが入荷され、これをチェックする検査官はたった312人しかいません。サンプリングされるだけで本体そのまま流通して行きます。後でトラブルが生じても手遅れです。余りにも検査官が少なすぎるのです。特に塩蔵物はヤードにそのまま長期間放置されているものが多く、長いものは1年を越える物もあります。

現在の食品に関する法律では、【生物】は「南瓜/トンガ」,[ブロッコリー/メキシコ]と生産地を明記しなければなりません、【加工品】は生産地を明記しなくても良いのです。此処に介在するのが商社であり、商社は必要な部分だけを輸入するので、現地で他は捨ててしまいます。我々が日頃口にしている輸入食材の多くは日本で加工されるのではなく、加工賃の安い国に持ち込み、その国の名前加工品として輸入されているのです。

先の長期保存された塩蔵食物は漂白工程後、新たに色付けをし、味・香りを付けて、【化学品】として包装され市場へ出て行きます。梱包に適さないものは形を変えて出荷されて行きます。日頃食べている物を見直してみても如何でしょう。

「自給率」は地域的に東京1%、大阪2%と首都圏は低いが、北海道は190%を越えこの地域差には驚かされます。今こそ“日本産食料”を食べることから始めなければ日本の自給率を上げる事は出来ません。更に大切なことは食べ尽くすことです。東京では毎日6,000トンが残飯として捨てられています。この残飯で560万人の飢餓の方を救うことが出来るのです。

コスト&利益が重視され「食」の大切さが軽視されているのが現状です。食物は生産された形のままに移動し、保存されるのがベストです。しかし現在は流通のし易さが最優先されています。

人間が何を食べて、何が変わるのか。今食べても、明日には結果は見られない。しかし、「食」に勝る薬は無いのです。

「食」は文化です。「食育」は重要です。お父さんもっと「食」を知ってください。